

講義名：国際機構論　＜春集＞		ナンバリングコード： 0	
担当教員名： 軽部　恵子			
研究室： 聖アンデレ館10階1022号室		オフィスアワー： 火曜 12:40～13:40、金曜12:40～13:10	
メールアドレス：			
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
この講義では国際機構の成り立ちとしくみについて、国連を中心に勉強します。武力紛争、大量破壊兵器、貧困、環境など世界共通の問題を解決するのに、国連を中心とした国際協力は不可欠です。国際機構論では、大学生なら誰もが持つべき世界史の基礎知識を確認しながら講義を進めます。秋学期に国際法を履修する予定の人は、春学期の国際機構論をなるべく先に履修して下さい。国際紛争の根源は民族と宗教に深く関係しています。国際紛争の歴史的背景を理解するため、学期冒頭に15世紀以降の世界史（とくに西洋近代史）を集中的に学びます。また、国際機構論の前半は国際法と導入部分は似ていますが、取り上げ方が大きく異なります。授業では、絵画、写真、ドキュメンタリー番組、史実に基づいた映画などの視聴覚教材を積極的に利用します。国際問題に関する重大ニュースは、随時取り上げます。また、国内外のメディア（新聞社、テレビ局、通信社など）のホームページを用いて、メディア・リテラシーを学びます。国際機構に関連した仕事をする人をゲスト講師に招くことがあります。			
学習目標			
(1)17世紀以降の世界史の流れを国際機構の視点から理解する。(2)国連の成り立ちと各組織の役割を把握する。(3)国際問題の理解に必要な一般教養（歴史、文化、宗教など）を学ぶ。			
講義・演習計画			
【第1回】 国際機構とは何か	【第16回】 第2次世界大戦(2) 国際連盟の崩壊		
【第2回】 国際機構の歴史(1) ルネサンスと大航海時代	【第17回】 第2次世界大戦(3) 国連の設立		
【第3回】 国際機構の歴史(2) 宗教改革から三十年戦争へ	【第18回】 国連のしくみ(1) 国連の目的		
【第4回】 国際機構の歴史(3) ウェストファリア条約と主権国家体制の形成	【第19回】 国連のしくみ(2) 国連の原則		
【第5回】 国際機構の歴史(4) アメリカ独立革命とフランス革命	【第20回】 国連のしくみ(3) 総会		
【第6回】 国際機構の歴史(5) ナポレオン戦争とウィーン体制	【第21回】 国連のしくみ(4) 事務総長		
【第7回】 国際機構の歴史(6) ハーグ平和会議	【第22回】 国連のしくみ(5) 安保理① 任務と権限		
【第8回】 国際機構の歴史(7) 赤十字国際委員会の設立	【第23回】 国連のしくみ(6) 安保理② 朝鮮戦争		
【第9回】 第1次世界大戦(1) サラエボ事件	【第24回】 国連のしくみ(7) 安保理③ スエズ戦争とPKO		
【第10回】 第1次世界大戦(2) 近代兵器の登場	【第25回】 国連のしくみ(8) 安保理④ 湾岸戦争		
【第11回】 第1次世界大戦(3) パリ講和会議と国際連盟の設立	【第26回】 国連のしくみ(9) 安保理⑤ 冷戦終結後の民族紛争		
【第12回】 国際連盟(1) 国際連盟の目的	【第27回】 国連のしくみ(10) 安保理⑥ アメリカ同時多発テロとイラク戦争		
【第13回】 国際連盟(2) 国際連盟の問題点①	【第28回】 特別テーマ(1)		
【第14回】 国際連盟(3) 国際連盟の問題点②	【第29回】 特別テーマ(2)		
【第15回】 第2次世界大戦(1) ファシズムの台頭	【第30回】 学期末試験とまとめ		
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	出席
コメント	春学期末試験のみで評価します。教室内で出席票を配布するのは、受講生が講義への感想、質問、要望等を書くためで、「出席点」にはなりません。また、講義時間内に行う小テストは、成績評価にいい関係ありません。		
テキスト			
著書	成美堂出版編集部編	タイトル	一冊でわかるイラストでわかる図解世界史
ISBN	978-4415103334	出版社	成美堂出版
教科書購入区分	生協購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
国際連合広報局『国際連合の基礎知識』関西学院大学総合政策学部 2009年　国連広報局編『創立50周年記念 国連年鑑特別号：国連　半世紀の軌跡』中央大学出版部　1997年 横田洋三編『国連による平和と安全の維持：解説と資料』国際書院　第1巻 2000年　第2巻 2007年　篠原初枝『国際連盟』中央公論新社　2010年 国際地学協会『国旗と地図』国際地学協会　2004年　芝生瑞和編『図説フランス革命』河出書房新社　1989年 長谷川輝夫『図説ブルボン王朝』河出書房新社　2014年　祝田秀全『名画で読み解く「世界史」』世界文化社　2013年 大島力『名画で読み解く「聖書」』世界文化社　2013年　吉田敦彦『名画で読み解く「ギリシア神話」』世界文化社　2013年 保坂俊司監修『決定版　よくわかる世界三大宗教』学研パブリッシング　2012年　中谷剛『アウシュヴィッツ博物館案内』新訂増補版　凱風社　2012年			
事前および事後学習の指示　（事前学習　60　時間　・事後学習　60　時間）			
教室で毎回配布される講義レジュメの指示に従って、教科書の関連部分および参考サイトで予習・復習してください。			
その他備考（担当教員用）			
①履修登録する前に、教員作成の「講義運営のルール」を必ず読んで下さい。学期冒頭に配布します。 ②勉強の方法については、教員作成の「国際法・国際機構論を履修する皆さんへ（勉強のガイド）」を参照して下さい。 ③教科書は毎回使います。教科書を持参しない学生に対する配慮はありません。			
キーワード			
備考（管理者用）			